

中小企業動向調査

この調査は富山県内企業413社を対象に実施し、298社より回答があり、その結果をまとめたものである。

企業の調査資料として、平成24年4月～6月の実績、平成24年7月～9月の見込み、平成24年10月～12月の先行き見通しを集約した概要である。なお、季節調整は行っていない。

調査時期：平成24年6月下旬

	調査対象企業数	有効回答企業数	有効回答率
製 造 業	183	131	71.6%
非 製 造 業	230	167	72.6%
計	413	298	72.2%

日銀が8月10日に公表した、北陸の金融経済月報（2012年8月）によると、「北陸の景気は、海外経済減速の影響がみられるものの、全体としては持ち直しの動きが続いている。

最終需要をみると、個人消費は底堅い動きとなっている。設備投資は持ち直している。公共投資は前年を上回っている。住宅投資は弱い動きとなっている。

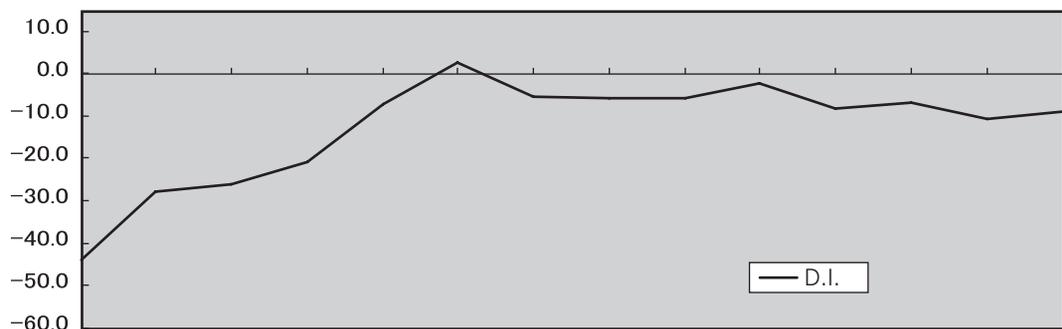
先行きについては、海外経済が減速した状態から脱していくことや、震災復興関連の需要が徐々に強まっていくことなどを背景に穏やかな回復経路に復していくとみられる。

金融面をみると、預金は個人を中心に増加している。貸出は地方公共団体向けを中心に増加している。

I. 企業概況

企業概況の推移……（全産業）

期別 種別	（%）													
	21 年		22 年				23 年				24 年			
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
良 い	3.6	7.9	11.0	11.1	16.2	20.8	17.5	19.4	15.4	17.9	15.1	14.3	7.5	10.7
普 通	49.0	56.4	52.0	56.8	60.5	61.1	59.5	55.4	63.2	61.8	61.6	64.6	74.1	69.8
悪 い	47.4	35.6	37.0	32.1	23.3	18.1	23.0	25.2	21.4	20.3	23.3	21.1	18.4	19.6
D . I .	-43.9	-27.7	-26.0	-21.0	-7.1	2.7	-5.5	-5.8	-6.0	-2.4	-8.2	-6.8	-10.9	-8.9

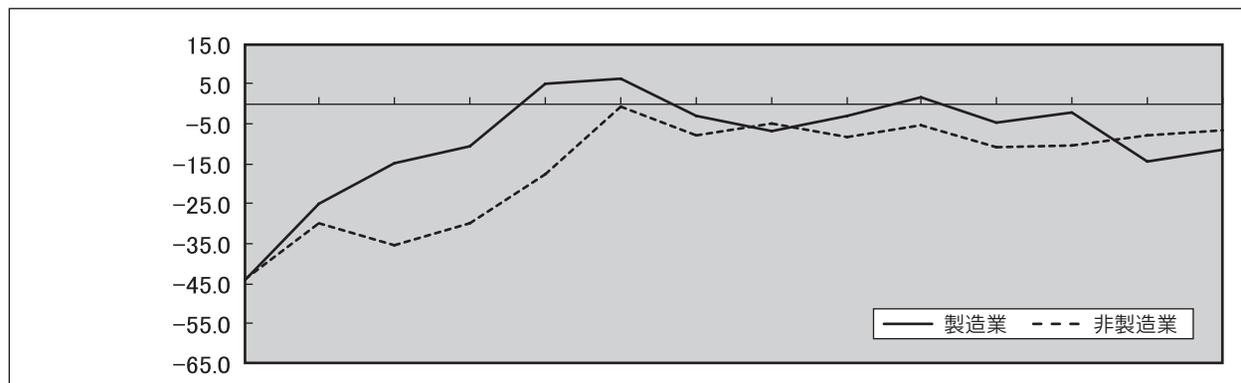


企業概況の推移…… (うち製造業のみ)

期別 種別		21 年		22 年		23 年		24 年		見込		予測			
		7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	3月	6月	7~9月	10~12月
良	い	5.7	10.0	20.5	17.7	24.3	27.0	20.3	20.8	17.1	21.6	19.4	16.2	6.2	10.1
普	通	44.7	55.0	43.8	53.7	56.4	52.5	56.5	51.5	62.5	58.2	56.6	65.4	72.9	68.2
悪	い	49.6	35.0	35.6	28.6	19.3	20.6	23.2	27.7	20.4	20.1	24.0	18.5	20.9	21.7
D . I .		-44.0	-25.0	-15.1	-10.9	5.0	6.4	-2.9	-6.9	-3.3	1.5	-4.7	-2.3	-14.7	-11.6

企業概況の推移…… (うち非製造業のみ)

期別 種別		21 年		22 年		23 年		24 年		見込		予測			
		7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	3月	6月	7~9月	10~12月
良	い	1.8	6.1	2.9	5.4	9.0	15.3	15.0	18.2	13.9	15.0	11.7	12.8	8.5	11.1
普	通	52.7	57.7	59.0	59.5	64.1	68.8	62.1	58.7	63.9	64.7	65.6	64.0	75.0	71.0
悪	い	45.6	36.2	38.2	35.1	26.9	15.9	22.9	23.1	22.3	20.4	22.7	23.2	16.5	17.9
D . I .		-43.8	-30.1	-35.3	-29.8	-17.9	-0.6	-7.8	-5.0	-8.4	-5.4	-11.0	-10.4	-7.9	-6.8



(1) こうした北陸の状況の中で富山県内の中小企業の業況を全産業で見ると、業況判断指数D.I.「良い-悪い」の24年4~6月期実績は▲6.8と前期比1.4ポイント改善した。

先行きについて、24年7~9月期のD.I.は▲10.9、24年10~12月期のD.I.は▲8.9と悪化予想となっている。

前回調査時の予想は、7~9月は改善予想となっていたが、今回は逆の回答となった。

(2) 業況判断指数D.I.の24年4~6月期を製造業と非製造業に分けてみると、製造業は前期より2.4ポイント、非製造業は前期より0.6ポイントと、ともに改善となった。

先行きについて製造業は、24年7~9月期には悪化予想となっている。非製造業は改善へ向かう予想である。

II. 売上高状況

売上高状況

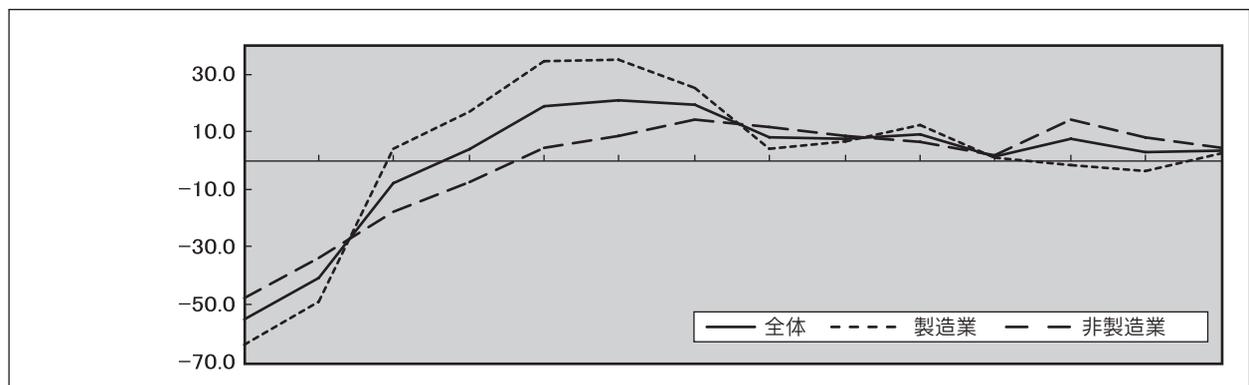
		(%)												見込	予測
種別	期別	21 年		22 年				23 年				24 年			
		7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
増加		10.0	14.5	28.0	34.5	43.3	32.8	39.4	35.8	33.9	36.5	30.0	33.5	21.8	19.6
横ばい		24.9	29.9	36.2	34.8	30.2	35.5	40.8	36.6	39.8	35.9	41.4	40.3	59.2	64.3
減少		65.0	55.6	35.8	30.7	25.5	21.7	19.9	27.7	26.3	27.5	28.6	26.3	19.1	16.1
D. I.		-55.0	-41.1	-7.9	3.8	18.8	21.1	19.5	8.0	7.5	9.1	1.3	7.2	2.7	3.4

売上高状況（うち製造業のみ）

		(%)												見込	予測
種別	期別	21 年		22 年				23 年				24 年			
		7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
増加		7.8	13.4	35.6	43.9	54.2	54.2	44.6	34.0	33.6	36.2	27.9	28.0	17.0	17.1
横ばい		20.6	23.9	32.9	29.1	26.1	26.8	36.0	35.9	39.5	39.9	45.0	42.6	62.3	68.2
減少		71.6	62.7	31.5	27.0	19.7	19.0	19.4	30.1	27.0	23.9	27.1	29.4	19.8	14.7
D. I.		-63.8	-49.3	4.1	16.9	34.5	35.2	25.2	3.9	6.6	12.3	0.8	-1.6	-3.8	2.3

売上高状況（うち非製造業のみ）

		(%)												見込	予測
種別	期別	21 年		22 年				23 年				24 年			
		7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
増加		11.9	15.4	21.5	26.2	35.3	32.5	34.6	37.2	34.1	36.8	31.5	37.8	25.6	21.7
横ばい		28.6	35.2	39.0	39.9	34.0	43.3	45.1	37.2	40.1	32.7	38.7	38.4	56.7	61.1
減少		59.5	49.4	39.5	33.9	30.8	24.1	20.3	25.6	25.8	30.4	29.8	23.8	17.6	17.3
D. I.		-47.6	-34.0	-18.0	-7.7	4.5	8.3	14.4	11.6	8.4	6.4	1.8	14.0	7.9	4.3



- (1) 売上高は、前年同期比較での増減について回答を受けている項目である。今回調査では、D.I.は7.2となり、前期より5.9ポイント改善の回答となった。先行きについては、今期より悪化、改善予想となっている。
- (2) 売上高状況D.I.を製造業と非製造業で分けると、製造業は前期比2.4ポイント悪化、非製造業は12.2ポイント改善となり、増加したとのポイントが高くなった。
先行きについては、製造業は24年7~9月期では悪化予想であるが、10~12月は改善予想となっている。非製造業は除々に悪化していく予想となっている。

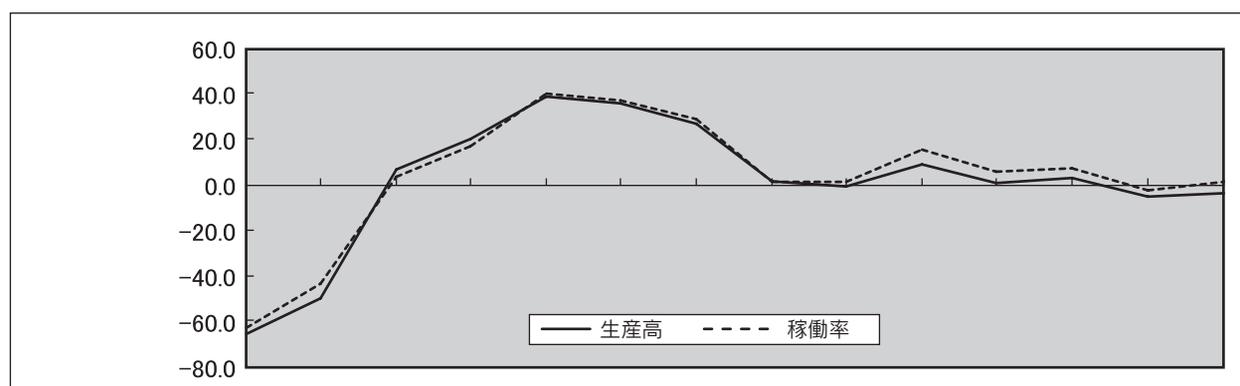
Ⅲ. 生産高・稼働率状況

生産高状況（製造業のみ）

		（%）												見込	予測	
期別 種別	21 年		22 年				23 年				24 年					
	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月		
20%以上増加	0.0	2.2	12.9	19.4	19.9	20.0	16.9	11.9	6.7	6.5	6.1	5.6	0.8	1.6		
20%未満増加	7.1	9.5	24.3	26.6	35.5	33.3	28.7	19.8	21.5	28.1	22.1	25.0	13.5	12.7		
横ばい状況	20.6	26.3	32.1	28.1	28.4	28.9	35.3	37.6	43.0	39.6	44.3	41.9	65.9	67.5		
20%未満減少	36.2	38.0	22.1	18.7	15.6	15.6	14.7	21.8	24.8	22.3	25.2	22.6	14.3	11.9		
20%以上減少	36.2	24.1	8.6	7.2	0.7	2.2	4.4	8.9	4.0	3.6	2.3	4.8	5.6	6.3		
D . I .	-65.2	-50.4	6.4	20.1	39.0	35.6	26.5	1.0	-0.7	8.6	0.8	3.2	-5.6	-4.0		

稼働率（製造業のみ）

		（%）												見込	予測	
期別 種別	21 年		22 年				23 年				24 年					
	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月		
上昇	0.0	2.9	13.6	21.4	22.3	19.4	19.1	12.1	5.6	7.4	6.4	4.9	2.4	0.8		
やや上昇	8.1	10.2	22.9	22.1	31.7	34.3	25.0	19.2	20.1	29.6	21.6	25.2	12.0	17.3		
横ばい	21.3	29.9	30.7	30.0	32.4	29.1	40.4	38.4	50.0	41.5	49.6	47.2	68.8	64.6		
やや下降	33.1	38.0	22.9	18.6	11.5	15.7	11.8	20.2	19.4	18.5	19.2	19.5	12.0	12.6		
下降	37.5	19.0	10.0	7.9	2.2	1.5	3.7	10.1	4.9	3.0	3.2	3.3	4.8	4.7		
D . I .	-62.5	-43.8	3.6	17.1	40.3	36.6	28.7	1.0	1.4	15.6	5.6	7.3	-2.4	0.8		



(1) 生産高・稼働率ともに売上高と同様、前年同期比での増減について回答を受けている項目である。製造業の生産高状況D.I.は3.2となり、前期比2.4ポイント改善となった。

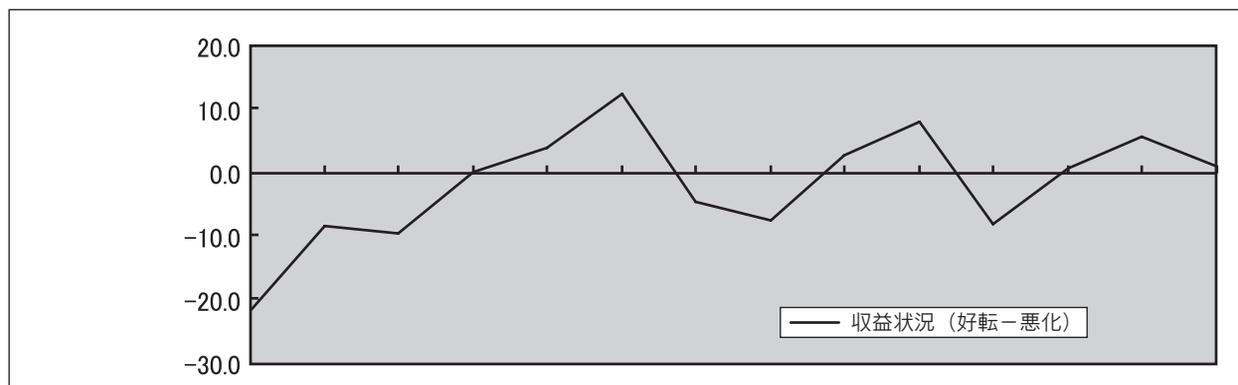
先行きについては、今期とは逆に悪化予想となっており、減少予想が多く、マイナスポイントとなっている。

(2) 稼働率についても、売上高、生産高同様に今期は前期比改善した回答であり、先行きについては悪化予想となっている。

IV. 収益状況

収益状況（好転－悪化）

期別 種別	21 年		22 年				23 年				24 年				(%)	見込	予測
	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月			
好 転	13.5	17.1	19.0	21.1	20.9	27.3	20.2	19.8	24.8	26.4	17.0	19.5	16.5	13.5			
横 ば い	51.4	57.2	52.3	57.7	61.8	57.9	54.8	52.7	53.0	55.3	57.7	61.6	72.7	74.1			
悪 化	35.0	25.7	28.7	21.1	17.2	14.8	25.0	27.5	22.3	18.3	25.3	18.9	10.8	12.5			
D . I .	-21.5	-8.6	-9.7	0.0	3.7	12.5	-4.8	-7.7	2.5	8.0	-8.3	0.7	5.7	1.0			



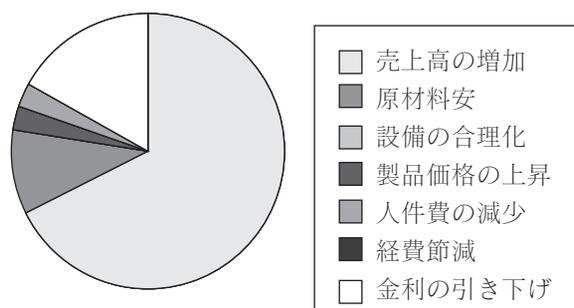
好転理由

期別 種別	21 年		22 年				23 年				24 年				(%)	見込	予測
	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月			
売上高の増加	63.9	54.2	63.3	62.5	64.4	73.6	69.2	60.0	76.0	73.5	66.2	67.6	69.0	60.4			
原材料安	8.2	11.1	5.1	4.5	1.1	1.8	1.3	5.0	3.0	4.1	1.5	9.9	8.6	9.4			
設備の合理化	1.6	2.8	3.8	2.3	5.6	0.9	5.1	6.7	2.0	1.0	0.0	0.0	0.0	5.7			
製品価格の上昇	0.0	0.0	2.5	5.7	2.2	3.6	5.1	6.7	2.0	2.0	2.9	2.8	1.7	3.8			
人件費の減少	11.5	12.5	10.1	9.1	7.8	4.5	2.6	5.0	3.0	3.1	4.4	2.8	1.7	3.8			
経費節減	14.8	19.4	15.2	15.9	17.8	15.5	16.7	16.7	14.0	16.3	22.1	16.9	19.0	17.0			
金利の引き下げ	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0			

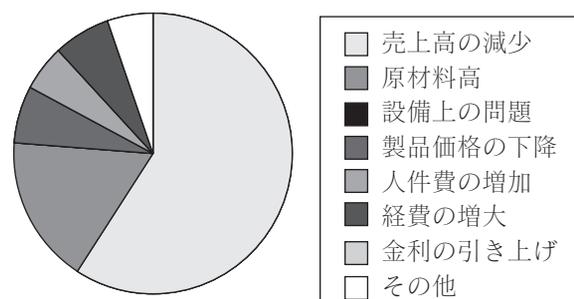
悪化理由

期別 種別	21 年		22 年				23 年				24 年				(%)	見込	予測
	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月			
売上高の減少	62.7	68.1	65.2	56.1	56.4	65.7	55.4	53.7	56.1	50.0	55.6	59.2	60.4	59.6			
原材料高	3.6	4.2	5.0	13.2	7.7	8.6	13.4	14.7	11.2	18.3	14.8	17.1	14.6	15.4			
設備上の問題	1.2	1.7	1.4	0.9	1.3	0.0	3.6	1.1	2.0	1.2	0.9	0.0	0.0	1.9			
製品価格の下降	16.6	14.3	13.5	14.9	16.7	14.3	8.0	10.5	9.2	11.0	8.3	6.6	4.2	11.5			
経費の増大	7.7	5.0	5.0	5.3	6.4	1.4	7.1	6.3	12.2	8.5	11.1	5.3	8.3	5.8			
人件費の増加	4.1	3.4	2.8	7.0	6.4	7.1	4.5	6.3	5.1	4.9	2.8	6.6	2.1	0.0			
金利の引き上げ	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	1.1	1.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0			
その他	3.6	3.4	7.1	2.6	5.1	2.9	5.4	6.3	3.1	6.1	5.6	5.3	10.4	5.8			

好転理由



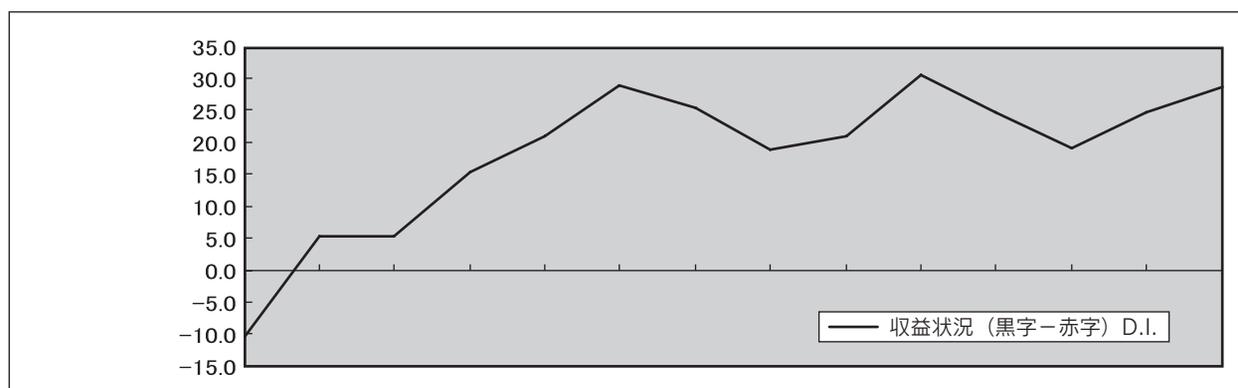
悪化理由



- (1) 収益状況「好転－悪化」D.I.は、前期比9.0ポイント改善し、0.7となった。前期予想では、マイナスポイントであるが改善予想であったが、プラスポイントとなった。先行きについては、7～9月期は改善予想となっている。
- (2) 今期収益が好転した理由は、前回調査に比べ、「原材料安」が8.4ポイント、「売上高の増加」が1.4ポイント増加した。しかし、「経費節減」「人件費の減少」が前期よりポイントは減少となっている。
- (3) 収益が悪化した理由では、「人件費の増加」が3.8ポイント、「売上高の減少」が3.6ポイント前期より増加となった。「経費の増大」「原材料高」を理由とするポイントは減少している。先行きについては、「製品価格の下降」とするポイントが増加している。「人件費の増加」「金利の引き上げ」のポイントは零となっている。

収益状況（黒字－償却後赤字）

種別	期別														（%）	
	21年		22年				23年				24年				見込	予測
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月		
黒字	23.5	27.0	28.5	36.0	41.7	43.2	43.6	40.8	43.4	47.4	44.3	41.0	39.1	42.4		
収支トントン	42.6	51.3	48.3	43.3	37.6	42.5	38.1	37.2	34.2	35.9	36.0	36.9	46.4	43.8		
償却後赤字	33.9	21.7	23.2	20.7	20.7	14.3	18.3	22.0	22.5	16.8	19.7	22.1	14.5	13.8		
D . I .	-10.3	5.3	5.3	15.3	21.0	28.9	25.3	18.8	20.9	30.6	24.6	19.0	24.6	28.6		



- (4) 収益状況「黒字－償却後赤字」D.I.は19.0となり、前期比5.6ポイント悪化となった。前々期より、ポイントは低下してきている。しかし、先行きについては、改善していく予想となっている。

V. 製品在庫水準

製品在庫水準

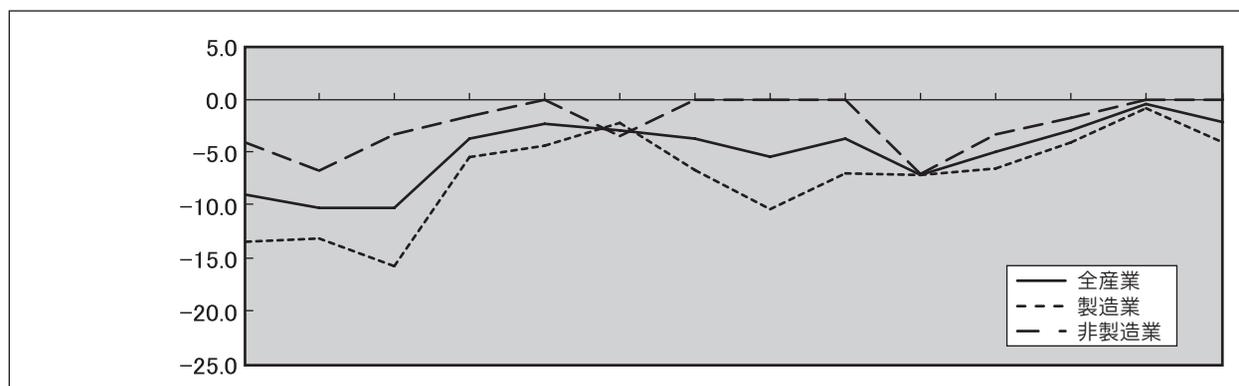
		製品在庫水準 (%)												見込	予測	
期別 種別	21年		22年				23年				24年					
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		
不足	3.5	3.1	1.1	4.5	4.9	6.2	4.6	7.1	4.5	1.3	3.8	3.9	3.9	2.6		
適正	84.0	83.5	87.7	87.2	87.8	84.8	87.1	80.2	87.1	90.4	87.4	89.3	91.7	92.6		
過剰	12.5	13.3	11.1	8.3	7.3	9.1	8.3	12.6	8.3	8.3	8.8	6.9	4.3	4.8		
D.I.	-9.0	-10.2	-10.0	-3.8	-2.4	-2.9	-3.8	-5.5	-3.8	-7.1	-5.0	-3.0	-0.4	-2.2		

製品在庫水準 (うち製造業のみ)

		製品在庫水準 (%)												見込	予測	
期別 種別	21年		22年				23年				24年					
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		
不足	4.5	3.7	0.0	5.5	5.2	7.8	4.5	6.3	4.3	1.6	4.1	2.5	3.3	1.7		
適正	77.4	79.3	84.3	83.4	85.1	82.2	84.1	77.1	84.4	89.6	85.1	91.0	92.5	92.5		
過剰	18.0	17.0	15.7	11.0	9.7	10.1	11.4	16.7	11.3	8.8	10.7	6.6	4.2	5.8		
D.I.	-13.5	-13.3	-15.7	-5.5	-4.5	-2.3	-6.8	-10.4	-7.1	-7.2	-6.6	-4.1	-0.8	-4.2		

製品在庫水準 (うち非製造業のみ)

		製品在庫水準 (%)												見込	予測	
期別 種別	21年		22年				23年				24年					
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		
不足	2.4	2.5	2.5	3.3	4.5	4.4	4.6	8.1	4.9	0.9	3.4	5.4	4.5	3.7		
適正	91.1	88.3	91.7	91.7	91.0	87.7	90.7	83.7	90.2	91.3	89.7	87.4	90.9	92.7		
過剰	6.5	9.2	5.8	5.0	4.5	7.9	4.6	8.1	4.9	7.8	6.8	7.2	4.5	3.7		
D.I.	-4.1	-6.7	-3.3	-1.7	0.0	-3.5	0.0	0.0	0.0	-7.0	-3.4	-1.8	0.0	0.0		



- (1) 全産業の製品在庫水準「不足-過剰」D.I.は、24年4~6月期は▲3.0となり、前期比2.0ポイント改善となった。ポイントはマイナスであり、まだ、在庫過剰が高い状況である。先行きについても、改善予想であるがまだ、在庫過剰が高い状況である。
- (2) 業種別では、製造業、非製造業とも、前期比改善となっているが、マイナスポイントであり、在庫過剰の回答が多い。
先行きについては、製造業はマイナスポイントの予想であり、まだ、在庫過剰の予想である。非製造業のD.I.は0.0ポイントの予想となっている。

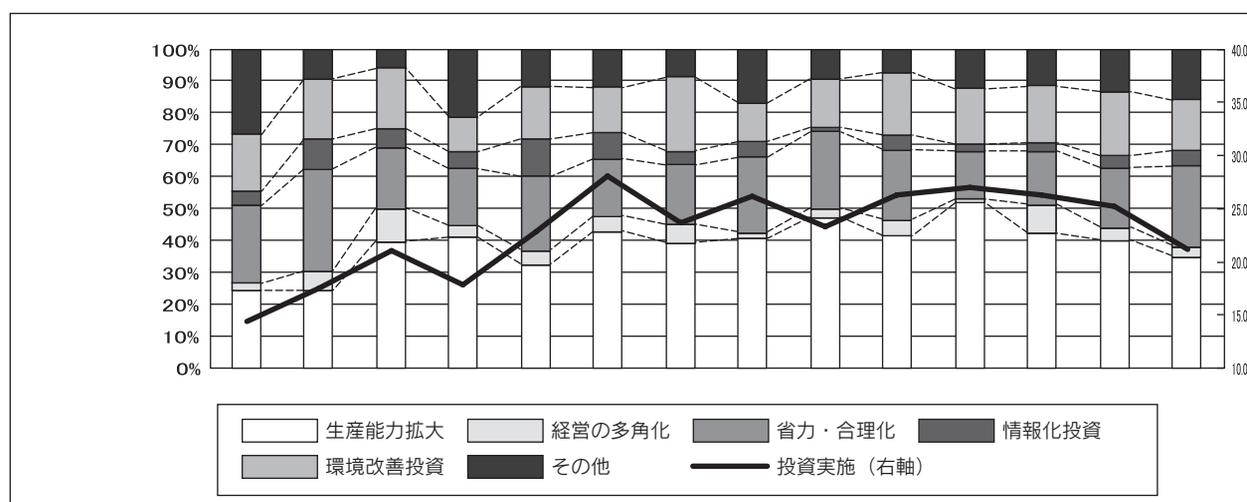
VI. 設備投資動向

設備投資の有無

期別 種別	(%)														見込	予測
	21 年		22 年				23 年				24 年					
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		
投資実施	14.4	17.4	21.0	17.7	22.8	28.1	23.6	26.1	23.2	26.3	27.0	26.2	25.2	21.1		
投資せず	85.6	82.6	79.0	82.3	77.2	71.9	76.4	73.9	76.8	73.7	73.0	73.8	74.8	78.9		

設備投資の目的 (実施先について)

	(%)													
生産能力拡大	24.4	24.5	39.7	41.1	32.4	42.9	39.1	40.7	47.3	41.5	51.9	42.3	40.0	34.9
経営の多角化	2.2	5.7	10.3	3.6	4.4	4.8	5.8	1.7	2.7	4.9	1.2	9.0	4.0	3.2
省力・合理化	24.4	32.1	19.1	17.9	23.5	17.9	18.8	23.7	24.3	22.0	14.8	16.7	18.7	25.4
情報化投資	4.4	9.4	5.9	5.4	11.8	8.3	4.3	5.1	1.4	4.9	2.5	2.6	4.0	4.8
環境改善投資	17.8	18.9	19.1	10.7	16.2	14.3	23.2	11.9	14.9	19.5	17.3	17.9	20.0	15.9
その他	26.7	9.4	5.9	21.4	11.8	11.9	8.7	16.9	9.5	7.3	12.3	11.5	13.3	15.9



(1) 今回調査では、設備投資を実施した企業は全産業の26.2%と、前期比0.8ポイント減少した。

先行きについては、7~9月期には25.2%、10~12月期21.1%と減少傾向となっている。

実施の目的別では、「省力合理化」「環境改善設備」とするポイントが前期より増加している。

(2) 業種別では、実施ポイントが高いのは製造業であり、なかでも「アルミ製品」は70%、「高岡銅器」は50%、「電子部品製造」は45.5%と半数が設備投資を行っている。非製造業では、「運送業」が39.1%と高いポイントとなった。

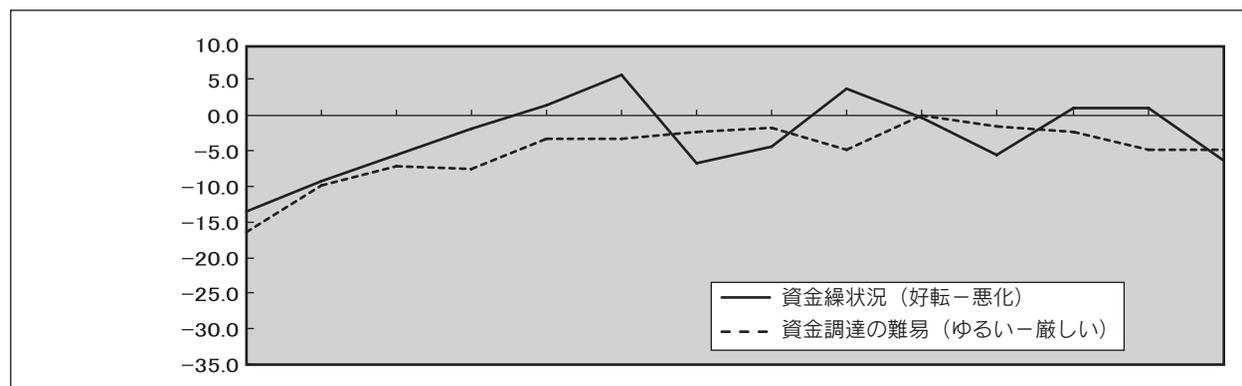
目的別では、生産販売能力拡大が最も多いが、金属製品製造では、省力合理化が多く、自動車販売では経営の多角化、窯業土石、卸売業では環境改善とするポイントが、高くなっている。

VII. 資金繰り状況

資金繰り状況（好転－悪化）

(%) 見込 予測

種別	21 年		22 年				23 年				24 年			
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
好転	7.7	5.9	9.0	10.1	9.8	13.7	5.5	11.5	10.0	9.9	7.0	11.8	9.8	7.7
変わらず	71.0	79.1	76.3	77.9	81.8	78.3	82.2	72.6	83.8	79.8	80.3	77.4	81.5	78.1
悪化	21.3	15.0	14.6	12.0	8.4	8.0	12.3	15.9	6.2	10.3	12.7	10.8	8.8	14.1
D . I .	-13.5	-9.2	-5.6	-1.9	1.3	5.7	-6.8	-4.4	3.7	-0.3	-5.7	1.0	1.0	-6.4



資金調達の難易（ゆるい－厳しい）

(%) 見込 予測

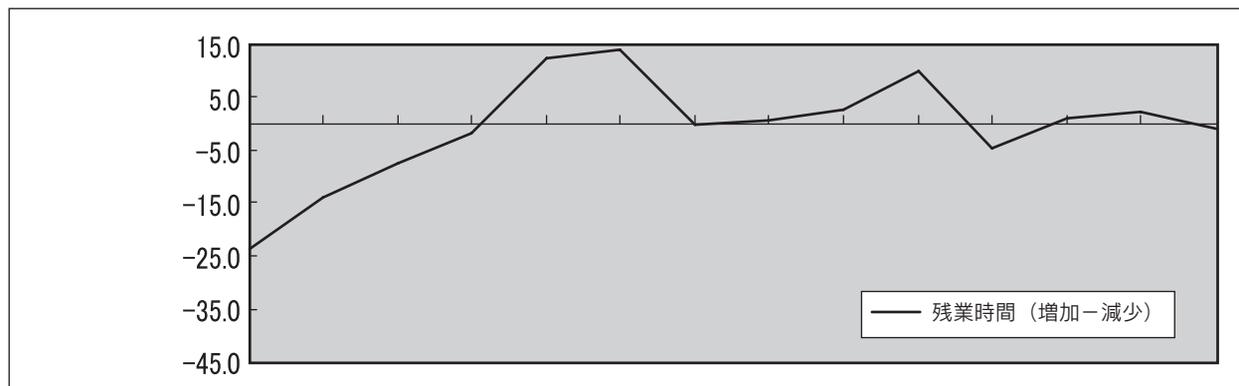
種別	21 年		22 年				23 年				24 年			
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
ゆるい	5.1	7.3	9.7	10.2	9.6	9.9	12.1	11.8	10.1	12.6	12.5	12.3	9.9	10.6
厳しくない	73.3	75.4	73.3	72.1	77.3	76.9	73.4	74.7	74.8	74.8	73.3	73.0	75.3	73.9
厳しい	21.5	17.3	17.0	17.8	13.1	13.3	14.5	13.6	15.1	12.6	14.2	14.7	14.8	15.5
D . I .	-16.4	-10.0	-7.2	-7.6	-3.4	-3.4	-2.4	-1.8	-5.0	0.0	-1.7	-2.5	-4.9	-4.9

- (1) 資金繰り状況D.I.「好転－悪化」実績は、1.0と前期比6.7ポイント改善した。資金繰り状況は、3期ぶりにプラスポイントとなり好転とするポイントが高くなった。先行きについては、10～12月期は▲6.4と再び悪化の予想となっている。
- (2) 資金調達の難易D.I.「ゆるい－厳しい」では、▲2.7となり、前期より悪化した。先行きについては、厳しい予想となっている。業種別で製造業、非製造業ともマイナスポイントであり、厳しいとの回答となっている。特にマイナスポイントが高いのは、繊維製造業、宿泊業となっている。先行きについては、窯業土石、土木業も厳しくなる予想となっている。

VIII. 労務事情

残業時間

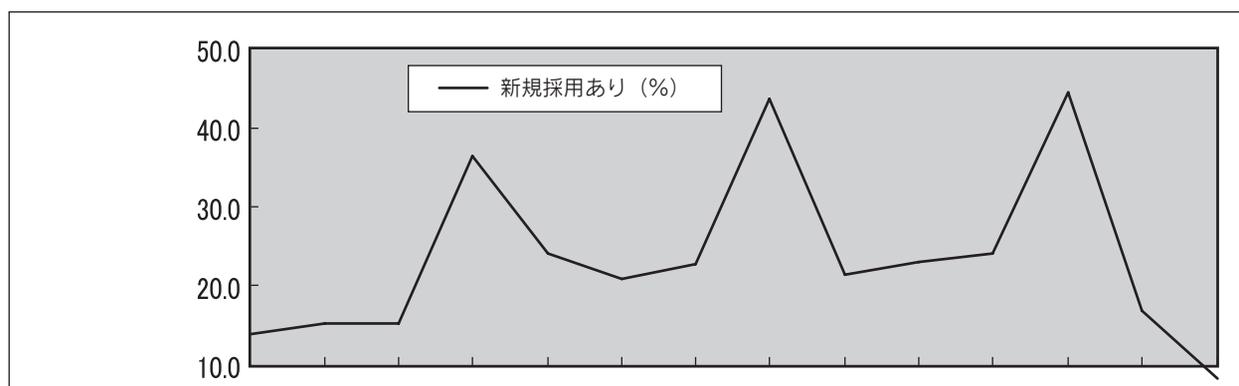
		(%)												見込	予測	
期別 種別	21 年		22 年				23 年				24 年					
	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月		
増加	11.3	12.1	15.4	19.0	22.4	24.6	17.4	20.0	16.9	20.1	14.8	12.7	9.3	9.0		
横ばい	53.6	61.6	61.4	60.0	67.2	64.8	64.9	60.5	68.5	69.7	65.5	75.4	83.7	80.9		
減少	35.1	26.3	23.2	21.0	10.3	10.6	17.7	19.5	14.6	10.2	19.7	11.9	7.0	10.2		
D . I .	-23.7	-14.2	-7.8	-2.1	12.1	14.1	-0.4	0.5	2.4	9.9	-4.9	0.8	2.3	-1.2		



- (1) 残業時間D.I.は24年4~6月期0.8となり、前期のマイナスポイントがまたプラスとなった。製造業の残業時間は減少となり、先行きも減少予想であるが、非製造業の残業時間は増加の予想となっている。

新規採用実績(採用あり：%) ※常用・臨時合算

		(%)												見込	予測	
期別 種別	21 年		22 年				23 年				24 年					
	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月		
全産業	14.0	15.2	15.3	36.5	24.1	20.9	22.6	43.7	21.3	22.9	24.0	44.6	16.8	8.4		
(うち製造業)	10.0	12.9	15.6	34.5	31.9	22.5	25.9	42.2	17.6	18.6	20.0	48.9	14.5	6.1		
(うち非製造業)	17.4	17.2	15.1	38.3	17.0	19.5	19.6	45.0	24.6	26.5	27.1	41.3	18.6	10.2		



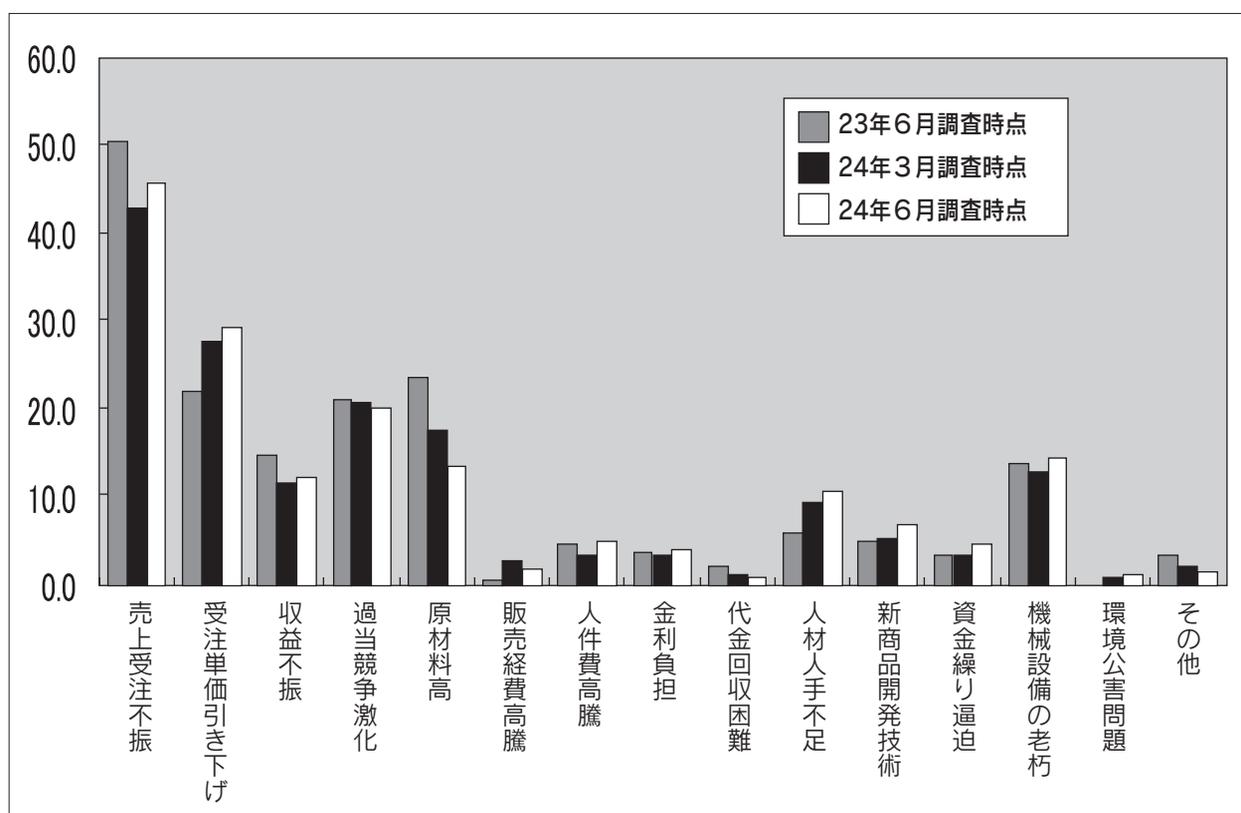
- (2) 新規採用集計は、常用雇用・臨時雇用合算で集計している。集計を見ると、全産業の44.6%が新規採用を行っており、前年、前々年の同期に比べ採用したポイントが増加している。

先行きについては、例年に比べ大幅な減少の予想である。

IX. 当面の経営上の問題点

(%：複数回答あり)

	23年6月 (前回)	24年3月 (前回)	24年6月 (今回)	前回比増減		
				(うち製造業)	(うち非製造業)	
売上受注不振	50.4	42.7	45.6	(50.4)	(41.9)	2.9
受注単価引き下げ	21.7	27.7	29.2	(33.6)	(25.7)	1.5
収益不振	14.6	11.3	12.1	(6.9)	(16.2)	0.8
過当競争激化	20.8	20.7	20.1	(16.8)	(22.8)	-0.6
原材料高	23.5	17.3	13.4	(16.0)	(11.4)	-3.9
販売経費高騰	0.4	2.7	1.7	(2.3)	(1.2)	-1.0
人件費高騰	4.4	3.3	4.7	(0.8)	(7.8)	1.4
金利負担	3.5	3.3	3.7	(1.5)	(5.4)	0.4
代金回収困難	1.8	1.0	0.7	(0.8)	(0.6)	-0.3
人材人手不足	5.8	9.3	10.4	(9.2)	(11.4)	1.1
新商品開発技術	4.9	5.0	6.7	(13.0)	(1.8)	1.7
資金繰り逼迫	3.1	3.3	4.4	(2.3)	(6.0)	1.1
機械設備の老朽	13.7	12.7	14.1	(16.0)	(12.6)	1.4
環境公害問題	0.0	0.7	1.0	(0.8)	(1.2)	0.3
その他	3.1	2.0	1.3	(0.8)	(1.8)	-0.7



- 今回の調査の全産業での当面の経営上の問題点をみると、①売上受注不振45.6%(前期比+2.9ポイント)、②受注単価引下げ29.2%(前期比+1.5ポイント)、③過当競争激化20.1%(前期比▲0.6ポイント)の順になっている。
- 前期より大きく変化したのは、「原材料高」であり、3.9ポイント減少した。「売上受注不振」は2.9ポイント増加となり、問題点として、高くなっている。
- 「原材料高」で高いポイントの業種は、木材業、金属製品製造、出版印刷紙加工の順となった。他の理由で、高いポイントとなっているのは、医薬品製造、百貨店スーパー小売の「過当競争激化」、高岡銅器、宿泊業の「機械設備の老朽化」等がある。

X. 為替変動に対する影響

		見込				予測 (%)
項	目	23年10~12月	24年1~3月	24年4~6月	24年7~9月	24年10~12月
売上高	好転	0.4	0.4	0.0	0.0	0.4
	悪化	8.5	7.5	7.8	8.2	7.8
	影響なし	91.1	92.2	92.2	91.8	91.8
仕入高	好転	3.0	1.9	2.0	2.0	2.0
	悪化	3.4	8.7	5.9	5.9	6.3
	影響なし	93.6	89.4	92.2	92.2	91.8
営業利益	好転	1.9	1.5	0.4	0.4	0.0
	悪化	8.3	9.8	8.2	7.8	9.0
	影響なし	89.8	88.7	91.4	91.8	91.0

- (1) 見込、予測については、前期に比べた予想について回答を求めた。
 今回256社からの回答があり、4~6月では、売上高については7.8%から影響があると回答があった。回答企業の全てが売上高が悪化したとの回答であった。
 前期より悪化したとのポイントは0.3ポイント増加した。
- (2) 仕入高については、7.9%が影響ありと回答。うち5.9%が悪化したと回答であった。
 悪化したとするポイントが前期比やや減少した。
 営業利益では、8.6%が影響があるとし、8.2%が悪化したと回答している。
- (3) 先行きについては、売上高に影響があるとのポイントがやや増加していく予想となっている。
 仕入高に対する影響も、やや増加予想となっている。